



ティカにて

いよいよモヨ通信発行！！

いったい、モヨ・チルドレン・センターはケニアでどんなことをやっているの？ どんな運営？ 子ども達はどんな顔をしているの？ そんな皆様の熱い声に背中を押されて、いよいよモヨ通信を発行すべく、只今準備を進めておりま

す。まずは、ダイジェスト版で近況報告をお届けいたします。第一号は7月末発行予定です。

キリマンジャロ・トレッキング
アルペン社 / 2003夏休み催行！
お問合せ:kato@nbnet.co.ke 担当:加藤和也
VVMベンチャー(K) Ltd.

支援している子ども達の学校を視察に行きました。

5月6、7、9、12日の4日間、七つのセカンドリー、ハイスクールを訪ねました。今年から新たに学費支援を始めた11人の子ども達の2、3学期の授業料支払いを兼ねて、彼らが学んでいる学校を視察し、先生方とも親しくお話するためです。遠い所は車で2時間余りかかる上、今、ケニアは雨季のさなかとあって、時には泥濘に車輪が横滑りしヒヤッとする場面もありましたが、4日間でどうにかすべての学校を訪ねる

ことが出来ました。

各校、規模もレベルも環境も違うのですが、全体的に随分きちんと目が行き届いている印象を受けました。以前から支援している4人の子ども達の事も含め、一人一人の子どもについて、この<モヨ通信>を通じて追々とお伝えしたいと思います。その中で教育事情を含めた<ケニアの今>、そして<子ども達の今>を感じて頂ければ幸いです。

松下

創刊によせて



支援しているチャニア・ガールズ・ハイスクールの子ども達

人と人を結ぶ掛け橋となれ

魂・精神の意味を持つ「モヨ」。アフリカの大地で子ども達と共に生きて9年・・・照美さんの生涯をかけての生きさまに多くの方の共鳴と協力を戴き、ゆっくりながら着実に目標に向かって結実させようとしています。「モヨ通信」はきっと国や民族を越え、人と人を結ぶ大切な掛け橋となることと期待しています。

青木康子 神奈川県川崎市
主婦、モヨ日本支部ボランティア

アフリカが身近なものになった

新聞で知るアフリカは、暴動、難民、エイズの世界。松下さんを通して知るアフリカは、経済的に貧しいけれど、いっしょけんめい生きている子どもたちの世界。アフリカがとって身近なものになりました。松下さんを応援することで私も元気をもらっています。

戸田初美 46才 徳島県徳島市
歯科医院事務・家事・吉野川シンポジウム会員・吉野川みんなの会会員

より一層の連帯感のために

この通信によって、モヨ・チルドレン・センターの全般的な活動を定期的に知る事が出来るのは、支援者の方々にとつて、とても楽しみな事だと存じます。センターと支援者の方々が、より一層の連帯感を築き、益々活動が充実・発展します様に！

高橋優香 ケニア・ナイロビ

清らかな水が浸み通るように

テルさんがアフリカの大地に抱かれて9年。白い砂に清らかな水が浸み通るように、人々の心がテルさんの体に満ちて、新しい世界が広がった。困難をのりこえて、たくさんの子どもの笑顔が赤い太陽となって空へ舞い上がれ。

小林 茂 48才 新潟県長岡市
ドキュメンタリー映画監督

ティカの街に根付く活動

ティカの街に根付いて活動する、<モヨ・チルドレン・センター>の照美さんの事は、以前から知っていました。貧しい人々や孤児達に教育の機会を与えるという素晴らしい仕事のおかげで、ストリートから学校へ子ども達を戻す事が出来る様になりました。待ちに待ったこの通信により、モヨ・チルドレン・センターの色々な活動が、広く我々に知らされる事は、本当にうれしいニュースです。

フランシス・ンディラング ケニア・ティカ
ティカ自治体・教育委員長 (幼・小・中高担当)

新校舎完成!

モヨ・チルドレン・センター ルカヤ職業訓練校

5月17日、ウガンダ・マサカ県ルカヤにある貧しい子ども、若者達の自立の為の職業訓練校<モヨ・チルドレン・センター・ルカヤ職業訓練校>の新校舎完成式を現地ルカヤで執り行いました。当日は心配していた雨も降らず、雨季の合間

のウガンダ晴れ!

赤道直下独特の痛いほどの陽射しの中で新校舎が輝いていました。これは日本のある会社のご支援を受けて、7名のスタッフの指導の下、保護者、地域の方々の協力に支えられて、生徒達自らが4ヵ月余りかけて建設したものです。準備から入れると8ヵ月近く、色々問題も有りましたが、立派に完成した新校舎をまのあたりにして感無量でした。スタッフ、生徒一同本当によく頑張りました。

当日の式典参加者は、日本からは支援して下さった会社のお二人とあとお一人の計3名、ケニアから私、ウガンダ現地スタッフ、生徒、保護者そしてルカヤ市長、副市長を含む来賓の方々。それに加えてどこで聞いたか集ってきた子ども、若者達まで入れると総勢250人を越し、用意してくれていた食事が足りないほどでした。この職業訓練校との関わり、今後の計画等についても次の機会にまた改めて詳しくご報告させて頂きます。

松下

ケニア・ア・ラ・カルト①

ケニアは、アフリカの東部にあり、北緯4度40分~南緯4度40分に位置しています。日本のような四季はなく、大雨季3月~5月、小雨季10月~11月、乾季、に別れています。モヨ・チルドレン・センターのあるティカは、高度が1300mを超える高地にあり、一年中気温は23度前後で、過ごしやすい気候です。

つれづれ ケニア訪問記

生涯での貴重な体験

何かのご縁で松下さんと出会い、今回、弊社でウガンダのルカヤ職業訓練校に新校舎を贈ることができました。ご縁を作って頂きました後藤理恵様をはじめ、御世話になりました皆様ありがとうございました。ケニアのスラム、新校舎の贈呈式、子供達の笑顔・・・すべてが私の生涯で忘れることのできない貴重な体験でした。今後も、モヨ・チルドレン・センターとその子供達が丁寧に一歩づつ成長されますことを心より願っています。

栗山 太 37才 東京都
(株) シェリール 取締役営業部長

ボランティアに対する考え方が変わった

今回、アフリカに来て松下さんの活動を見て、私のボランティアに対する考え方を変えました。ウガンダとケニアで出会った若者がいろんな事を問いかけて来ました。「日本もこと同じ様に問題をかかえていますか?」「病気で死ぬ人は多いですか?」一つ一つ考えさせられました。言いたくて言えなかった事、伝えたくて伝えられなかった事ばかりです。日本のたくさんのメンバーさんとウガンダの青年達の方でルカヤの職業訓練校新校舎が建ち上がりました。これからがスタート。一緒に考え、頑張っていきたいと思います!

高松俊博 41才 福岡県大野城市
(株) シェリール 取締役広報部長

深い絆に圧倒されて

昨年新聞で松下さんの記事を見たのが総ての始まりでした。仕事、子育て、親の介護、その間ずっと持ち続けてきた願いがやっとかなって、今このアフリカの地に来ています。松下さんが長い間の苦勞と努力で作ってきたティカやウガンダの人達との絆に圧倒されています。あと二週間のスティで果たして次に繋がる何かを見つけられるのか不安ですが、彼女のアドヴァイスの様にあせらずにいよいよ自分の道をさがしてゆきたいと考えています。

臼井貞子 56才 愛媛県松山市
薬剤師

皆さまの声をお寄せください。

遠く離れたケニアと日本の情報の共有を目指してモヨ通信は発行されます。今後このモヨ通信が皆さまとの情報交換の場となれば、と考えています。ぜひ、ご意見、ご希望、ご質問、または日本での皆さまの活動など、なんでもお寄せください。

編集後記

◎本当に長い間お待たせしました。皆様のご協力のもと念願の通信をやっとお届けできることになりました。どうか末永くお付き合いください。(テル)
◎モヨ通信の編集・レイアウトをやらせてもらいます加藤です。ニュースは山程もあるのにごく一部ずつしかお伝えできないのがもどかしいですね。
◎これから号を重ねながらケニアのいろんなことを伝えていきたいと思ひます。(浅村重臣)

モヨ・チルドレン・センターの歩み

1997年11月ケニア政府大統領府NGOビューローインターナショナルNGO登録の申請書類提出。
1999年9月 ケニア政府より、国際NGOとして「モヨ・ホーム」、正式に認可・登録される。
2000年10月ティカにて、本格的に活動開始。
2001年5月「モヨ・ホーム」から、「モヨ・チルドレン・センター」に改名。

モヨ・チルドレン・センター

P.O.BOX 2712 THIKA KENYA
TEL/FAX : 254(ケニアの国際番号)-067-22329
E-MAIL : moyo@africaonline.co.ke
ケニア政府NGO局登録番号 : OP.218/051/97223/1006
日本連絡先 : モヨ・チルドレン・センター日本支部
〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部 1905
青木康子 : TEL/FAX:044-433-3447
寄付受付先 : 口座名称 : モヨ・チルドレン・センター
口座番号 : 00230-4-71118(郵便振替)